

大宮学園 小中一貫教育だより

平成30年5月23日発行 No.1

大宮学園小中一貫教育 4年目がスタート

京丹後市内の全中学校区では、「学力の向上」と「不登校や問題行動の未然防止と早期解消」に向けて、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指し、こども園や保育所の就学前から、中学校卒業までの十年間を見据えた系統的な教育活動を展開しています。

大宮学園（総称）では小中一貫教育完全実施の四年目を迎え、5月2日には大宮中学校区の教職員が一堂に会し、大宮学園年度初全体会を行いました。昨年度の成果や課題を整理したうえで、本年度の活動方針や年間行事計画など、具体的な教育内容の共通理解を図った次第です。学園の教育目標は『自他を尊重し、自ら学ぶ 子どもの育成』と掲げています。そして、この教育目標を達成させるために、目指す子ども像を「意欲的に学び、チャレンジする子ども」（知）、「自他を大切にし、思いやりのある子ども」（徳）、「心身を鍛え、活動的な子ども」（体）、としています。



参議院特別体験
プログラム

今後、ますます変化が激しくなる社会において、子どもたちがそれぞれの可能性を伸ばし、様々な課題解決に向けて積極的に取り組むとともに、心豊かにたくましく生き抜いていこうとする意欲が持てるように、大宮学園ではそれぞれの発達段階でどのような教育をしていけばよいのかを校種を越えて考え、実践していきたいと思っています。

そこで、本年度の重点的な取組として、三つの大きな柱を掲げました。一点目は、『確かな学力の育成』を目指す授業づくりです。学園で作成している「言語活用カリキュラム」を生かし、話し合い活動を積極的に取り入れ、主体的・対話的な授業を通して学びを深めていきます。二点目は、自他を大切にすることを育むために『人権意識を育成』することです。三点目は、園児や児童・生徒との『連携・体験活動の充実』です。これらの教育活動を通して、自らを律しつつ、他人とともに協調し、仲間を思いやる心や感動する心などの「豊かな人間性」を育てていきたいと考えています。そして、教育活動全体を通して共通のキーワードを、「ことばの力」「思いやる心」「つながる力」として、各校・園が協働的に取組を進めていきます。



また、大宮小中一貫校PTAにおきましても、子どもたちの健やかな成長を願い『家庭の心得』をはじめ、共通の目標に沿って様々な取組を展開していただいております。さらには、一昨年の三月、大宮学園教育支援協議会も設立していただきました。本年度も大宮学園の子どもたちを温かく包みこむ環境づくりにご支援を賜りますとともに、学校、園・所、家庭・地域社会が連携し、豊かで教育力のある地域社会づくりに、ご協力いただきたいと思います。

後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様には、「大宮学園小中一貫教育だより」や「学校のホームページ」におきまして、学園の子どもたちの活動している様子を発信させていただいておりますので、是非ご覧ください。

結びにあたり、大宮学園の教職員一同、大宮町の子どもたちの健やかな成長を目指すとともに、保護者や地域の皆様に信頼される学園づくりに向け、精一杯努力してまいりますので、皆様のご理解・ご協力、そして、ご支援をよろしくお願い致します。

大宮学園代表 下戸 昭宏（大宮中学校長）

大宮学園 経営計画

【教育目標】

自他を尊重し、自ら学ぶ 子どもの育成

【目指す子ども像】

- 意欲的に学び、チャレンジする子ども（知）
- 自他を大切にし、思いやりのある子ども（徳）
- 心身を鍛え、活動的な子ども（体）



【大宮学園 キーワード】

★「ことばの力」「思いやる心」「つながる力」

【平成30年度 大宮学園児童会・生徒会スローガン】

★「響く明るい声 咲かせる笑顔の花 つながろう大宮学園」

【取組の重点】

- (1) 確かな学力の育成：「言語活用カリキュラム」に沿った授業づくり
- (2) 人権意識の育成：「人権教育カリキュラム」を基盤とした教育活動の充実
- (3) 連携・体験活動の充実：「保幼小・小小・小中連携」の活性化
- (4) 教職員の交流・協働：「授業研究・合同研修会」の定期開催
- (5) 家庭・地域への啓発・発信：「家庭学習の手引き」「家庭の心得」の作成 等

連絡先等

『大宮学園小中一貫教育だより』は、大宮学園（代表 大宮中学校）より発行しています。
ご意見・ご感想等がございましたら、下記にご連絡ください。

○大宮中学校 電話：0772 - 64 - 2201 ファックス：0772 - 64 - 2210

○各小・中学校のホームページに「大宮学園 小中一貫教育」として記事を掲載しています。